

1－1 沿革

桜川市は、平成17年10月1日に旧岩瀬町、旧真壁町、旧大和村の2町1村が合併して誕生しました。八溝山系南端に位置する、筑波連山西麓に広がる田園地帯に、数多くの文化財と豊かな自然景観に彩られた、茨城県西部の美しい町です。

旧岩瀬町は、岩瀬盆地の中央を東西に貫流する桜川周辺の低地や山麓の微高地に、大昔からの遺跡が数多く分布しています。大化改新（645）以降中央地方の行政区が整備され、岩瀬地方は常陸国新治郡に入り、郡の役所（郡衙）が古郡（筑西市）に置かれ、郡寺の瓦は上野原で作られました。

古代（奈良・平安）岩瀬地方は、中郡といわれました。この頃東国の風雲児平将門が国府（石岡市）を攻め落とし、関東の大半を占領しました。池亀の五大力堂は、将門伝承の遺跡です。平安時代末期から鎌倉時代の始めにかけて、岩瀬地方の有力土豪である中郡氏は、保元平治の乱には、源義朝に従って出陣しています。のち所領を蓮華王院（三十三間堂）に寄進して出来たのが中郡荘で、中郡氏はその現地支配にあたりました。中郡氏の没落後は安達氏が支配し、以後は北条氏から足利氏へと領主が移ります。

南北朝の争乱において中郡城は落城し、一時結城氏が支配しますが、のちに中郡荘は室町幕府の直轄領となります。また戦乱の続く時代には、芳賀氏によって鴨鳥五所神社（県指定）が造営され、世阿弥によって謡曲「桜川」が作されました。

戦国時代に入ると、佐竹氏・結城氏・小山氏・多賀谷氏などの群雄が中郡内に進入し、互いに争いました。町内には、中世の城館跡として羽黒山城跡、岩瀬城跡、坂戸城跡、松田城跡、橋本城跡、富谷城跡などが残されています。

江戸時代になると、岩瀬地方は大部分が笠間藩領、一部結城藩領と旗本知行地・天領に分けられます。

明治時代の廃藩置県によって笠間県（一部若森県・結城県）となり、のち茨城県西茨城郡に入り、明治22年（1889）町村制施行により西那珂村・北那珂村・東那珂村の三那珂が誕生し、また水戸線が開通し岩瀬駅、次に羽黒駅も開業しました。大正14年（1925）西那珂村は岩瀬町となり、昭和30年町村合併によって旧三那珂は新岩瀬町となりました。

旧真壁町は、北東に加波山、南東に筑波山を擁し、中央部を南流する桜川を境に、東には水田地帯、西には畑作地帯が広がります。常陸国の国府（現石岡市国府）と新治郡衙（現筑西市古郡）を結ぶ古代の交通路が東西に走り、古代の重要な遺跡も多く残っています。真壁という名は、白髮皇子と呼ばれた清寧天皇の御名代「白髮部」に遡るとされ、1,500年以上の歴史を持ちます。

平安時代の初めには白壁郡から真壁郡となり、平安時代の終わりには平長幹が旧真壁町から旧大和村を支配し、地名の真壁を名字として、真壁氏と呼ばれるようになりました。以後、鎌倉時代には幕府の御家人として遠国へも転戦し、南北朝時代から室町時代には一族の分裂や落城を経験しながら、戦国時代の終わりまで真壁の領地を守りました。その本拠であった真壁城は江戸時代には廃止されますが、遺構がよく残り、国指定史跡として現在も発掘調査と整備が行われています。戦国時代が終わると、

真壁氏は角館（現秋田県仙北市角館町）に移り、真壁地区は江戸時代には浅野氏の領地となりました（真壁藩）。浅野氏が笠間に移ると、真壁藩のうち主に桜川より東は笠間藩の一部となり、西は天領・旗本領となりました。浅野氏はさらに赤穂藩（現兵庫県赤穂市）へ移って、忠臣蔵で知られる赤穂事件へと繋がっていきます。

さて、真壁城が廃止されてのち、町の中央には御陣屋が置かれました。真壁氏が作った城下町は、浅野氏によって陣屋町へと変更されて完成し、商人を中心の町として地方経済の核となりました。商売は、大阪平野から岡崎平野にかけて栽培される良質の木綿を、会津や米沢など東北地方の商人に売り捌く木綿市が中心で、のちに地元の木綿や絹、米などの穀物、酒や醤油など様々な商品が取り引きされました。明治時代に入ると、町の有力な商人たちが中心となって真壁銀行を設立して資本を整備し、水力発電や製糸、鉄道など近代化に必要な事業を次々と手がけてゆきます。東宮御所（現在の迎賓館）建設などを契機として普及する火薬碎石と鉄道開通によって、加波山を中心とする大規模石材産業も成立しました。明治22年の町村合併では、かつての真壁氏の領地を中心に真壁町、紫尾村、谷貝村、樺穂村が成立し、昭和30年には4町村を中心に合併して新たな真壁町が誕生しました。真壁氏と浅野氏によって作られた城下町の町割りは、江戸時代から明治、大正、昭和、平成、そして令和と引き継がれ、そこに木綿市を中心に栄えた商家の立派な建物が登録有形文化財として数多く残り、町の中心部は国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。住民の方々にとってこの町並みを活かしたまちづくりが進められ、平成15年から始まった真壁のひなまつりでは、10万人を超える人々が、伝統的な文化財の町並みと、趣向を凝らした雛人形を見学し、町の人々との交流を楽しんでいます。

旧大和村は、古墳時代を経て大国玉七井などの井戸を中心に農耕が発展し、8世紀には真壁郡の名が史書に現れて、大国玉神社なども創建されています。10世紀に入ると平将門の乱が起き、后神社、将門の墓など平将門にまつわる地名、遺跡、伝説などを多く残しました。

鎌倉時代からは、小栗氏、真壁氏が当地を長く治めることになります。15世紀の中頃、古河公方・足利成氏によって小栗氏は滅ぼされましたが、真壁氏は久幹（道無）などの武運が強く、北条氏滅亡の後、常陸を支配した佐竹氏の傘下となりこの地を治めることになります。しかし関ヶ原の戦いで、佐竹氏が徳川方に積極的に加わらなかつたために減封され、秋田に去りました。徳川幕府が成立すると、藩主の交代は引き続きましたが、明治まで笠間領だった雨引地方のほかは、藩領、天領、旗本領、社寺領等に細分化されて治められました。

江戸中期になると村方騒動、百姓騒動などが起こり、用水の不便などもあって青木村などでは疲弊の色が濃かったものの、青木堰を築いた二宮尊徳の尽力で荒廃から救われました。またこの時代、当地からは、赤穂義士の一人・勝田新左衛門、雨引山中興の租・恵岳、加波山禪定中興の租・金敷五助などを輩出しています。幕末の動乱期には、尊攘派の志士・大和田外記たちが参加した筑波山義挙などが起こり、明治維新を迎きました。

明治半ば頃までには小村の合併が進み、雨引村と大国村が誕生し、昭和29年に二つの村が合併して大和村が誕生しました。

1-2 市のあゆみ

西暦	年月	主な出来事
1954	昭和29年	真壁町、紫尾村、谷貝村、樺穂村と長讚村の一部が合併し新真壁町が誕生 雨引村と大国村の二ヶ村合併により大和村が誕生
1955	昭和30年	旧岩瀬町、北那珂村、東那珂村が合併し岩瀬町が誕生／大月～木植林道工事完了 真壁町新町5ヵ年計画策定／真壁町第1回町民体育大会開催
1956	昭和31年	大和東小学校校舎新築 真壁町社会福祉協議会誕生 岩瀬町議会選挙／上野沼土地改良区区画整理完成／岩瀬町役場北部支所、東部支所廃止
1957	昭和32年	羽黒小学校校舎改築工事完成 真壁南中学校開校 岩瀬町立国保病院建設工事完成／羽黒小学校上城分校廃止／金山林道工事完成
1958	昭和33年	岩瀬～亀岡線(大岡～亀岡地内)工事完成／岩瀬町保育所建設工事完成 桃山中学校、桜川中学校両校舎完成 岩瀬町団体加入電話組合通話開始／岩瀬～亀岡線(大岡地内)新設工事完成
1959	昭和34年	岩瀬町青年研修所建設工事完成／富谷林道工事完成 大和村新庁舎落成 県知事、県議会議員選挙 岩瀬町外1市2ヶ村防疫組合立伝染病隔離病舎建設工事完成 国道岩瀬地内舗装工事一部完成
		岩瀬町長選挙及び議会議員補欠選挙 無競争／岩瀬町農業委員選挙 門毛大橋架設工事完成／上城林道工事完成
1960	昭和35年	第2回大和村議会議員選挙執行／大和村道羽田～青木線、本木茂賀橋架替工事竣工 大和村マッシュルーム組合で栽培施設竣工 岩瀬町議会議員選挙執行 定員30名 磯部前土地改良区区画整理完成／岩瀬小学校校舎増築工事完成
		岩瀬～南飯田線新設工事完成／大泉堀之内窯群が茨城県重要文化財の指定を受ける 真壁町塵芥焼却場完成
1961	昭和36年	真壁町塙世石材団地操業開始 岩瀬中学校校舎増築工事完成／梅雨前線停滞で岩瀬地方が集中豪雨をうけ災害救助法が適用される／岩瀬町役場新庁舎完成／岩瀬町母子健康センター完成
1962	昭和37年	大和村青年研修所竣工 真壁町母子健康センター完成 岩瀬町営住宅ますみ・十枚内団地20戸完成／大泉堀之内林道完成
1963	昭和38年	羽黒小学校増改築工事完成 大和村東・西中学校が統合され「大和中学校」となる 県議会で県立岩瀬高校設立決議 県立岩瀬高等学校建設開始
1964	昭和39年	大和村統合中学校第一期工事竣工／第3回大和村議会議員選挙執行 筑波山ユースホステル完成 西小塙～羽黒停車場線、羽黒橋完成／県立岩瀬高校開校／岩瀬東部保育所新築完成
		岩瀬北部保育所改築完成／筑北環境衛生組合結成／鉢田橋架工事完了
1965	昭和40年	大和村統合中学校第二期工事竣工 真壁町谷貝小にプール完成 国保病院看護婦宿舎完成／岩瀬東部公民館完成／岩瀬町農集電話開通
		雨引・大国農業協同組合が合併、大和村農業協同組合となる
1966	昭和41年	大和中学校校舎竣工／阿部田橋新設 筑北環境衛生組合し尿処理場完成／岩瀬和合橋永久橋として完成 真壁中央公民館完成 真壁小学校、紫尾小学校にプール完成
1967	昭和42年	大和村東保育所竣工／雨引保育所開設 県西総合病院組合設立／岩瀬～本郷線外7路線の町道舗装完成／岩瀬町体育館完成

西暦	年月	主な出来事
1968	昭和43年	筑ろく地方学校給食組合設立／樺穂小学校にプール完成 第4回大和村議会議員選挙執行 定員16名 大和西小学校校舎新築／高久幼稚園開設 県西総合病院が完成／岩瀬町議会議員選挙執行 岩瀬町、北那珂、東那珂3農協が合併し、岩瀬町農協発足 大和中学校屋内運動場竣工／大和村交通対策協議会発足 筑西火葬場組合設立
1969	昭和44年	岩瀬町南端が水郷筑波国定公園に指定される 加波山足尾山系が水郷国定公園に編入 岩瀬小学校プール建設工事完成 笠間市に至る大月林道完成 雨引小学校に水泳プール完成／大和村開発協会設立
1970	昭和45年	筑西火葬場完成／上野沼北側の観光道路完成／岩瀬町学校給食センター完成 大和村青木公民館完成
1971	昭和46年	大国小学校に水泳プール完成 岩瀬町予算10億円の大台突破 老人福祉センター「あまびき」完成(下館地方広域市町村圏事務組合=2市5町1村) 坂戸小学校及び東中学校桜丘教場にプール完成／西中学校永久校舎完成 第5回大和村議会議員選挙執行
1972	昭和47年	真壁町に県営ライフル射撃場完成／真壁町浄水場完成 県西総合病院第2病棟完成／岩瀬東中学校永久校舎完成／岩瀬町土地開発公社設立 岩瀬町体育館でNHKのど自慢が開かれる 大和村役場新庁舎完成
1973	昭和48年	町営簡易水道が完成し岩瀬地区通水／岩瀬町土地開発公社設立 雇用促進住宅岩瀬宿舎が青柳地区に完成／羽黒中学校跡地に土浦日大高校を誘致 岩瀬町立西中学校体育館完成 元岩瀬へ県営住宅完成
1974	昭和49年	真壁町役場新庁舎完成／県道下館・真壁線バイパス開通／茨城国体秋季国体開催 「桜川のサクラ」が国の重要文化財に指定される／岩瀬町営グラウンド竣工 岩瀬町立東中学校体育館、北部保育所、岩瀬消防署庁舎完成 土浦日本大学高等学校岩瀬校舎開校／岩瀬町合併20周年記念式典を体育館で挙行 大和村立幼稚園竣工
1975	昭和50年	岩瀬町松田田園都市センター完成 真壁石材谷貝団地完成／真和土地改良区設立 第6回大和村議会議員選挙執行
1976	昭和51年	岩瀬町中央公民館が完成／岩瀬北部地区簡易水道工事完工
1977	昭和52年	雨引小学校・大国小学校体育館新築 岩瀬東部地区県営ほ場整備事業始まる 水戸地方法務局岩瀬出張所が下館地方法務局下館出張所に統廃合となる 雨引小・大国小に屋内運動場が完成／大和村羽田地区に公民館完成 まかべ幼稚園開園
1978	昭和53年	岩瀬町立西中の特別教室とプール、羽黒小と南飯田小に体育館完成 西小塙児童公園竣工／岩瀬町坂戸地区簡易水道工事完工 真壁町営農センター竣工／真壁町歴史民俗資料館開館 大和村民運動場完成／第1回大和村村民祭開催
1979	昭和54年	真壁町民体育館完成／霞ヶ浦用水事業着工 岩瀬小永久校舎、坂戸小体育館、東中プール、岩瀬保育所完成／岩瀬駅開業90周年を迎える 第7回大和村議会議員選挙執行
1980	昭和55年	大和村民プール完成／大和村東飯田公民館完成 岩瀬町保健センター完成／岩瀬小塙地区簡易水道工事が完工 岩瀬町役場第2庁舎完成／岩瀬小・猿田小体育館が完成／国道50号バイパス全線開通 やまと保育所開設
1981	昭和56年	真壁町保健センター完成

西暦	年月	主な出来事
1982	昭和57年	岩瀬西中武道館、東中武道館完成／桜川運動公園野球場が完成 筑西地域職業訓練センターが岩瀬町に完成 大和村中央公民館完成 真和土地改良区ほ場整備事業完了／真壁町農業者トレーニングセンター完成 岩瀬町立猿田小にプール、坂戸幼稚園、坂戸小の永久校舎完成 岩瀬駅前土地区画整理組合設立／岩瀬西部土地改良事業竣工 第8回大和村議会議員選挙執行
1983	昭和58年	岩瀬町営住宅鍵田団地完成／今泉農村公園、上野沼公園広場、テニスコートが完成 大和村総合体育館完成／広域消防大和分署が開設 真壁町観光協会発足／桃山中、桜川中にプール完成 大和村高久スポーツ公園開設
1984	昭和59年	岩瀬町北部地区簡易水道拡張工事竣工／南飯田小、永久校舎完成 岩瀬町独自でコンピュータを導入／岩瀬町西飯岡農村集落センター完成 岩瀬東部地区土地改良事業が竣工 真壁町文化協会発足
1985	昭和60年	岩瀬町合併30周年記念式典を挙行 岩瀬町立羽黒小永久校舎完成／岩瀬町営住宅金井団地完成 真壁町シルバー人材センタースタート／真壁町防災行政無線開局 雨引小学校新校舎完成／大和村体力増進センター竣工
1986	昭和61年	岩瀬町第1回町民祭開催
1987	昭和62年	磯部桜川公園整備完成／上野沼やすらぎの里オープン／岩瀬北部土地改良区竣工 大和村立大国小校舎新築工事竣工／大和村高久地区に農村集落センター完成 大和村「いこいの家」完成
1988	昭和63年	筑波鉄道が廃線 岩瀬町立猿田小永久校舎完成／岩瀬町高齢者センター完成 JR水戸線岩瀬－新治間に「大和駅」誕生
1989	平成元年	水戸線開業100周年／岩瀬東部保育所改築 岩瀬町に北関東自動車道インタービー建設決定
1990	平成2年	岩瀬町農村情報無線開局／明日香公園完成
1991	平成3年	県道筑波・益子線、酒寄バイパス開通 岩瀬ラブロード50「石匠のみち」完成／岩瀬駅前土地区画整理事業が竣工 岩瀬町立東・西中学校にコンピュータシステム導入／岩瀬町営温水プール「サンパル」オープン 岩瀬町営住宅ますみ団地完成(48戸)
1992	平成4年	県西総合病院手術棟完成／岩瀬町社会福祉協議会法人設立10周年 つくば真壁工業団地完成／真壁総合福祉センター完成
1993	平成5年	つくし湖完成
1994	平成6年	岩瀬町大泉農村集落センター完成 岩瀬町農村環境改善センター完成／岩瀬町中央児童館完成 岩瀬町総合体育館「ラスカ」完成／岩瀬町議会だより創刊
1995	平成7年	真壁石灯籠が国の伝統工芸品指定 岩瀬町合併40周年記念式典を挙行／大川土地改良事業竣工 温水プール「サンパル」入場者10万人到達／岩瀬町営住宅犬田団地完成(24戸)
1996	平成8年	岩瀬町第3次総合計画後期基本計画策定／富谷山ふれあい公園オープン
1997	平成9年	岩瀬町総合福祉センターオープン／岩瀬町福祉巡回バス運行開始 岩瀬町ホームページ開設
1998	平成10年	岩瀬町総合運動公園完成／南飯田地区農業集落排水竣工 ふるさと林道久原・富谷線開通／岩瀬町営住宅東十枚団地完成(18戸)
1999	平成11年	真壁町に登録文化財第一号誕生 岩瀬町に印鑑登録証明書オンラインシステム導入／上野沼に噴水完成
2000	平成12年	りんりんロード休憩施設「真壁駅」完成 岩瀬町内全域でゴミの集団分別収集・リサイクル開始

西暦	年月	主な出来事
2001	平成13年	岩瀬町第4次総合計画策定
2002	平成14年	つくばりんりんロード全線開通 岩瀬町土地改良区が合併／温水プール「サンパル」入場者30万人到達
2003	平成15年	蔵の町「真壁のひなまつり」開催／岩瀬町・真壁町・大和村で合併協議会を設置 岩瀬町公共下水道の整備始まる／筑西遊湯館オープン
2004	平成16年	第9回合併協議会で新市の名称を「桜川市」と決定
2005	平成17年	10月1日桜川市誕生 10月30日初代桜川市長として中田裕氏就任
2006	平成18年	北関東自動車道路岩瀬トンネル貫通 「つくば」ナンバーが導入される 桜川市議会議員選挙
2007	平成19年	北関東自動車道路大政山トンネル貫通 ねんりんピック茨城2007が開催 桜川市は「ソフトボール交流大会」
2008	平成20年	桜川市の「市民憲章」「花・木・鳥」が決定 桜川市デマンド型乗合タクシー運行開始 北関東自動車道路 桜川筑西IC～笠間西IC間が開通 第15回優秀観光地づくり「金賞総務大臣賞」受賞 第23回国民文化祭・いばらき2008開催(ストーン文化フェスティバル・筑波嶺と万葉文化フェスティバル) 大和中学校新校舎完成
2009	平成21年	桜川市子育て支援センター開設 岩瀬駅前整備事業完成 桜川市長・議会議員補欠選挙
2010	平成22年	真壁地区の町並みが国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定される 桜川市が「地域づくり総務大臣表彰」受賞 桜川市議会議員選挙
2011	平成23年	東日本大震災 第17回 全国報徳サミット開催 真壁伝承館開館
2012	平成24年	桜川市Facebookページ開設 第7回まち交大賞受賞
2013	平成25年	桜川市学校給食センター完成 大塚 秀喜氏 市長就任
2014	平成26年	桜川市議会議員選挙
2015	平成27年	桜川市 市制施行10周年
2016	平成28年	ブルガリア共和国シリストラ市と友好交流都市協定締結 桜川市バス運行開始
2017	平成29年	全国伝統的建造物群保存地区協議会桜川市大会 桜川市長選挙
2018	平成30年	桃山学園開校 フィリピン共和国バコール市と友好交流都市協定締結 桜川市議会議員選挙
2019	令和元年	いきいき茨城ゆめ国体 ライフル射撃競技(CP以外)開催
2020	令和2年	市内巡回ワゴン「ヤマザクラGO ミニ」運行開始
2021	令和3年	東京オリンピック・パラリンピック開催 桜川市長選挙
2022	令和4年	桜川市公式マスコットキャラクター「さぐりん」誕生 桜川市議会議員選挙 (仮称)上曽トンネル桜川工区掘削完了

1-3 位置

桜川市は、首都圏から約70km圏内にあり、市の中心は東経140度5分、北緯36度19分で茨城県の中西部に位置し、東西は約14km、南北は約20kmで総面積は180.06km²となっています。

北は栃木県(真岡市・益子町・茂木町)、東は笠間市・石岡市、西は筑西市、南はつくば市と隣接しています。

地形は、北の富谷山・高峯山、東から南に雨引山・加波山・足尾山、筑波山と連なる山々に囲まれた平野部のほぼ中央を、市名の由来となった桜川が南下し、市の南北軸を形成しています。

また、市の北部を、東西に国道50号線とJR水戸線、さらに北関東自動車道路が横断しています。

1-4 土地

令和3年1月1日現在

総面積(km ²)	東西(km)	南北(km)	海抜(m)	
			最高	最低
180.06	14	20	850	24

資料:税務課

1-5 地目別土地面積

各年1月1日現在 (単位:km²)

年次 \ 地目	田	畠	宅地	池沼	山林	原野	雑種地	その他
平成21年	31.16	25.71	15.71	1.35	68.84	1.15	8.46	27.40
平成22年	31.01	25.66	15.74	1.36	67.72	1.11	8.41	28.77
平成23年	31.00	25.64	15.77	1.36	67.22	1.12	8.45	29.22
平成24年	31.01	25.63	15.79	1.36	63.62	1.08	8.51	32.78
平成25年	31.00	25.60	15.83	1.36	63.61	1.09	8.52	32.77
平成26年	30.97	25.54	15.89	1.36	63.50	1.09	8.54	32.89
平成27年	30.94	25.43	15.93	1.36	63.40	1.09	8.74	32.96
平成28年	30.92	25.39	15.91	1.36	63.36	1.08	8.82	32.96
平成29年	30.91	25.36	15.92	1.36	63.14	1.08	9.08	32.96
平成30年	30.87	25.26	16.05	1.36	63.03	1.06	9.39	33.04
平成31年	30.84	25.17	16.08	1.36	62.77	1.06	9.73	33.05
令和2年	30.82	25.13	16.09	1.36	62.75	1.07	9.78	33.06
令和3年	30.79	25.05	16.17	1.36	62.65	1.08	9.86	33.1
令和4年	30.73	24.88	16.17	1.36	62.66	1.12	10.04	33.03

資料:税務課

1-6 地価公示価格

各年1月1日現在 (単位:円/m²)

標準地	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	平成 31年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	計画区分
友部字水代207番7	20,600	19,500	18,600	18,300	18,200	18,100	18,000	17,900	17,800	17,600	17,500	17,400	第1種住宅地域
明日香4丁目47番1	37,000	35,500	34,300	33,500	33,300	33,100	33,000	32,800	32,700	32,600	32,500	32,400	第2種低層住居専用地域
鍛田字向原553番58	22,600	22,100	21,600	21,200	21,100	20,900	20,800	20,700	20,600	20,500	20,500	20,500	第1種中高層住居専用地域
真壁町飯塚字参番耕地128番6	21,000	19,400	18,500	18,200	18,000	17,800	17,600	17,400	17,300	17,200	17,100	17,000	第2種住宅地域
真壁町古城字大手前563番4			16,400	16,100	15,900	15,700	15,500	15,400	15,300	15,200	15,100	15,000	第1種住宅地域
真壁町古城字大手前188番地	17,500	16,400											第2種住宅地域
真壁町桜井字馬場335番地1	18,300	17,400	16,600	16,200	16,000	15,800	15,600	15,500	15,400	15,300	15,200	15,100	第2種中高層住居専用地域
本木字西原1255番地2	14,500	13,900	13,400	13,100	12,900	12,700	12,500	12,300	12,100	11,900	11,700	11,500	第1種低層住居専用地域
阿部田字清水頭314番5外	19,500	18,700	18,100	17,700	17,500	17,300	17,100	16,900	16,700	16,300	15,900	15,600	第1種住宅地域
岩瀬字山王195番1内	34,700	32,700	31,100	30,400	30,000	29,900	29,800	29,700	29,600	29,500	29,400	29,300	商業地域
富谷字田宿1014番													市街化調整区域
長方字戸崎306番2	11,800	11,600	11,400										市街化調整区域
長方字中内294番2				11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	市街化調整区域
真壁町塙世字宮下1465番地													市街化調整区域
真壁町椎尾字小萩673番	11,600	11,400	11,200	10,900	10,700	10,600	10,500	10,400	10,300	10,200	10,100	10,000	市街化調整区域
本木字久保488番3	10,200	9,950	9,750	9,600	9,500	9,450	9,400	9,350	9,300	9,200	9,100	9,050	市街化調整区域

資料:国土交通省 標準地・基準地検索システム

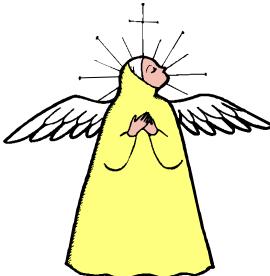
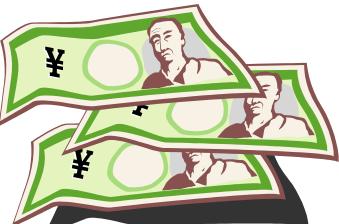
1-7 気象

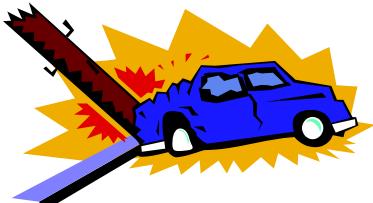
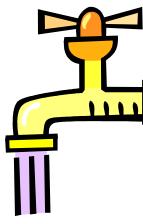
年次	気温(°C)			降水量(mm)		風速(m/s)			日照時間
	日平均 気温	最高 気温	最低 気温	合計	日最大	平均風速	最大風速	最大風向	
平成20年	14.1	35.2	-8.6	1,272.0	139.5	2.4	16.0	西北西	1,950.9
平成21年	14.4	34.2	-6.7	1,124.5	82.5	2.3	15.1	南	1,886.5
平成22年	14.7	37.0	-7.3	1,292.5	72.5	2.4	15.8	西北西	2,017.2
平成23年	14.2	36.1	-9.5	1,135.0	143.0	2.4	19.6	南	2,137.2
平成24年	13.8	36.1	-9.4	1,035.5	85.5	2.5	19.3	南	2,168.7
平成25年	14.2	36.7	-8.8	1,196.0	101.5	2.4	16.4	北	2,241.7
平成26年	13.9	36.2	-10.0	1,317.5	132.0	2.3	14.2	西	2,229.4
平成27年	14.7	36.4	-6.6	1,250.5	108.0	2.3	16.7	西北西	2,072.7
平成28年	14.6	36.7	-7.6	1,213.5	104.5	2.2	15.8	西南西	1,988.1
平成29年	14.0	35.2	-8.5	1,176.5	101.5	2.4	14.8	北西	2,136.6
平成30年	15.0	37.7	-9.6	1,148.5	76.5	2.4	18.9	南東	2,156.3
令和元年	14.8	37.1	-7.9	1,308.0	184.0	2.3	15.6	北	2,033.2
令和2年	14.9	37.3	-7.6	1,270.0	69.0	2.3	15.3	西北西	2,008.7
令和3年	14.8	35.1	-9.1	1,258.0	70.0	2.3	15.9	北西	1,793.6
1月	2.8	16.0	-9.1	20.5	11.0	2.3	15.2	西北西	181.5
2月	5.7	22.4	-5.7	37.5	35.5	2.9	15.9	北西	229.4
3月	10.6	22.8	-2.9	117.0	41.0	2.6	12.5	南	188.4
4月	13.3	25.6	1.8	90.5	32.5	2.9	11.2	西	226.2
5月	18.4	28.5	6.6	87.0	23.0	2.4	11.9	南南西	153.6
6月	22.0	29.9	14.3	89.0	24.5	2.3	8.5	南南東	145.0
7月	25.1	34.9	19.2	192.0	36.5	1.7	11.4	西北西	175.2
8月	26.2	35.1	17.6	230.0	47.5	2.4	11.5	南	181.6
9月	21.2	30.8	14.1	96.0	42.5	2.1	8.2	南南東	115.7
10月	16.6	29.5	2.5	139.5	70.0	2.0	12.3	北	176.3
11月	11.1	21.3	-2.7	46.0	21.5	1.9	9.5	西	213.9
12月	5.1	17.6	-6.6	113.0	50.0	2.4	11.8	西北西	217.7

注)気温、降水量、風速は、「下館」地域気象観測所のデータ。

資料:水戸地方気象台

1-8 市民のくらし

<p>人口密度 1km²あたり 213人</p>  <p>R3.10.1</p>	<p>世帯人口 1世帯あたり 2.85人</p>  <p>R3.10.1</p>	<p>出生 1年間で 140人</p>  <p>R3</p>
<p>死亡 1年間で 579人</p>  <p>R3</p>	<p>結婚 1か月におよそ 5.8 組</p>  <p>R3</p>	<p>離婚 1か月におよそ 3.8組</p>  <p>R3</p>
<p>転入 1日あたりおよそ 2.15人</p>  <p>R3</p>	<p>転出 1日あたりおよそ 3.03人</p>  <p>R3</p>	<p>市税 1人あたり 118,306円</p>  <p>R4</p>
<p>市の予算 1人あたり 481,626円</p>  <p>R3</p>	<p>市民所得 1人あたり 281.7万円</p>  <p>R1</p>	<p>市職員 市民 103人に 1人</p>  <p>R4</p>

<p>消防士 市民 534人に 1人</p>  <p>R4</p>	<p>医師 市民1,011人に1人 歯科医 市民1,559人に1人</p>  <p>R4</p>	<p>教員 教員 1人あたり 小学校 児童数 10.8人 中学校 生徒数 9.0人</p>  <p>R3</p>
<p>救急搬送 1日あたり 4.32回</p>  <p>R3</p>	<p>火災 1ヶ月あたり 1.83件</p>  <p>R3</p>	<p>交通事故 1日あたり 0.14件</p>  <p>R3</p>
<p>刑法犯 1日あたり 発生 0.46件 検挙 0.21件</p>  <p>R3</p>	<p>ごみ処理量 1日あたり 39.1t</p>  <p>R3</p>	<p>し尿処理量 1日あたり 61 t</p>  <p>R3</p>
<p>水道配水量 1日あたり 11,441m³</p>  <p>R3</p>	<p>下水道供用開始区域における接続率 63.7%</p>  <p>R3</p>	

1-9 茨城県内の「桜川市」早わかり

分類	項目	指標値・実数値	県内順位	基準日
土地・人口	総面積	180.06km ²	15位	令和3年10月1日
	可住地面積	106.10km ²	16位	令和元年
	総人口	38,422人	29位	令和3年10月1日
	一般世帯人員(1世帯当たり平均人員)	2.83人	3位	令和2年10月1日
	人口密度(総面積1km ² 当たり)	213人	36位	令和3年10月1日
	15歳未満人口割合	9.9%	32位	令和3年10月1日
	15歳～64歳人口割合	54.7%	33位	令和3年10月1日
	65歳以上人口割合	35.5%	12位	令和3年10月1日
	出生率(千人当たり)	4.5%	35位	令和元年
	死亡率(千人当たり)	15.9%	10位	令和元年
	高齢単身者割合	11.34%	38位	令和2年10月1日
	未婚率	25.12%	28位	令和2年10月1日
	外国人割合	1.14%	34位	令和2年12月31日
経済・財政	市町村内総生産	123,892百万円	32位	令和元年度
	製造品出荷額等(4人以上の事業所)	96,941百万円	30位	令和元年
	商品販売額	50,912百万円	30位	平成27年
	小売事業所売場面積	42,971m ²	30位	平成28年6月1日
	第1次産業就業者割合	7.31%	17位	平成27年10月1日
	第2次産業就業者割合	36.75%	11位	平成27年10月1日
	第3次産業就業者割合	55.94%	34位	平成27年10月1日
	財政力指数	0.48	36位	令和3年度
	実質公債費比率	7.7%	17位	令和2年度
	市町村民税(住民1人当たり)	49.45千円	38位	令和2年度
	固定資産税(住民1人当たり)	61.76千円	30位	令和2年度
教育・文化	歳出決算総額(住民1人当たり)	589.24千円	18位	令和2年度
	幼稚園数(3～5歳1万人当たり)	14.35園	39位	令和3年5月1日
	小学校児童数(教員1人当たり)	11.01人	37位	令和3年5月1日
	中学校生徒数(教員1人当たり)	9.46人	37位	令和3年5月1日
居住・環境	運動広場数(10万人当たり)	15.12所	23位	令和元年10月1日
	持ち家比率	85.71%	9位	平成30年10月1日
	水道普及率	93.50%	33位	令和2年3月31日
	汚水処理人口普及率	69.9%	37位	令和3年3月31日
	下水道普及率	16.1%	41位	令和3年3月31日
	ごみ収集量(1人1日当たり)	745g	43位	令和2年度
	道路実延長(総面積1万m ² 当たり)	89.91m	30位	平成31年4月1日
	市町村道舗装率	47.55%	43位	平成31年4月1日
	自家用乗用車数(千人当たり)	769.5台	11位	令和3年3月31日

分類	項目	指数値・実数値	県内順位	基準日
社会保障 ・医療	国民年金受給金額(受給権者1人当たり)	672.4千円	21位	令和3年3月31日
	生活保護被保護実人員(千人当たり)	8.0人	23位	平成29年度
	保育所等数(0～5歳1万人当たり)	49.02所	30位	令和2年10月1日
	一般病院数(10万人当たり)	5.1施設	20位	令和2年10月1日
	一般診療所数(10万人当たり)	53.7施設	22位	令和2年10月1日
	医師数(10万人あたり)	84.4人	29位	令和2年12月31日
	看護師・准看護師数(10万人当たり)	768.2人	25位	平成30年12月31日
	歯科診療所数(10万人当たり)	53.7施設	9位	令和2年10月1日
	歯科医師数(10万人当たり)	61.3人	18位	令和2年12月31日
	生活習慣病による死亡者数 (10万人当たり)	784.3人	9位	令和元年
安全	国民健康保険医療費 (被保険者1人当たり)	347,781円	13位	令和元年度
	火災出火件数(10万人当たり)	43.45件	20位	令和2年
	建物火災損害額(1人当たり)	1,764円	6位	令和2年
	交通事故発生件数(千人当たり)	1.12件	41位	令和2年
	交通事故死傷者数(10万人当たり)	132.9人	43位	令和2年
	刑法犯認知件数(千人当たり)	5.80件	22位	令和2年

資料:市町村早わかり(令和4年7月発行)